

課題

○児童生徒の読書時間の減少
(令和7年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問用紙より)

○学校図書館教育担当者の資質能力向上

事業のねらい

- ・学校図書館の利活用及び児童生徒の読書時間の増加
- ・推進協力校の還流による市内小中学校の学校図書館の取組の活性化

取組実施地域・学校の指定

名張市立北中学校
読書活動推進事業

実施内容

①学校図書館担当者研修



講座では、読み聞かせの意義や工夫、本を読むことで語彙数を増やすことができる等、「生きる力」や学力向上の礎になっていることを学んだ。

②子ども読書活動推進研修講座

・図書館ボランティア研修講座



学校ボランティアや学校司書等の資質向上を図り、学校図書館の充実を図るため、講座を実施した。

③ジュニア司書養成講座



司書の仕事を体験し、本の良さについて学習すること、読書についての関心を高めることを目的とし、講座を実施した。

④ファミリー読書感想文コンクール



家族等と同じ図書について話をするにより、図書への関心を高め、家族とのコミュニケーションを深めることを目的として、ファミリー読書感想文コンクールを実施した。

成果

○学校図書館担当者研修

図書館教育担当者や学校司書を対象とした研修講座を開催し、読み聞かせの意義や工夫、本を読むことで語彙数を増やすことができる等、「生きる力」や学力の向上になっていることを知り、担当者の意識を高めた。

○子ども読書活動推進研修講座 ・図書館ボランティア堅守講座

学校ボランティアを対象とした研修講座では、ボランティア同士が情報交換し、活動や実践の幅を広げることで地域と学校をつなぐ取組となった。

○ジュニア司書養成講座

名張市立図書館と共催でジュニア司書養成講座を実施し、参加者は読書や司書の仕事について関心を高めた。

○ファミリー読書感想文コンクール

ファミリー読書感想文コンクールを開催し、読書を通じて、家族や友人とコミュニケーションを深め、その人の新たな一面を知ることができた。

○読書が好きな生徒の増加

推進協力校の北中学校では、「読書が好きですか」の質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合が増加した。

	読書は好きですか (肯定的回答)
令和7年 5月	58%
令和8年 2月	59%